

学校経営推進費 評価報告書（2年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立香里丘高等学校
取り組む課題	授業改善への支援（生徒の学力の充実）
評価指標	<ul style="list-style-type: none">・ アクティブ音楽コース選択生徒による授業アンケートにおける授業満足度の向上及びコース選択生徒の比率向上・ 全国的な作曲コンクールでの審査結果
計画名	「得意を伸ばす！ アクティブコース充実プログラム」

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 確かな学力の育成と第一志望の進路実現 (3) アクティブ専門コース（アクティブ音楽コース）の充実。</p> <p>ア 生徒の得意分野や興味・関心の深いエリアをさらに支援し、伸ばすことを目的としながら、自信や意欲を支える自尊感情や自己肯定感を高め、自己実現をめざす志を育み、学習面とは違った側面から学力の向上も図る。</p> <p>イ 何事にも積極的に取り組む姿勢を育むとともに、リーダーシップ、忍耐力、集中力、協調性、社会性、奉仕の精神など、社会で必要とされる「生きる力」を育む。</p>
事業目標	<p>アクティブ音楽コースでは、音楽について様々な角度から学習しており、その一つとして2年生で楽曲の『編曲』、3年生で『作曲』を取り入れている。この活動をさらに充実させるため、楽譜作成ソフトを一新し、作曲家等外部講師に指導を仰ぎつつ、3年生が作曲した「マーチ（行進曲）」の最優秀作品を全国的なコンクール（全日本吹奏楽課題曲コンクール『朝日作曲賞』）に出品し、入賞をめざす。特色ある授業を展開することにより、アクティブ音楽コース選択者の比率を令和5年度に7%にし（R2 4%）、「授業アンケート」『興味・関心を持つことができた』『知識・技能が身についた』を令和5年度には95%にする（R2 92%）。</p>
整備した 設備・物品	<ul style="list-style-type: none">・ 楽譜作成ソフト（24台分）・ 音楽室へのプロジェクタ1台の設置・ 情報コンセント増設とアクセスポイントの設置・ スピーカー・Blue-ray プレーヤー・プリメインアンプ・教員用ノートパソコン・ハーモニードイレクター
取組みの 主担・実施者	<ul style="list-style-type: none">・ プロジェクト委員会・ 実施責任者は、アクティブコース担当者（指導教諭（音楽））
本年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none">・ 年度当初から楽譜作成ソフト「Finale」を使って2年生は編曲、3年生は作曲に取り組んだ。プロジェクターで一人ひとりの作品を映し出して全員で共有することにより、作曲への興味関心を深め、技能向上につなげることができた。・ 3年生の「マーチ」作曲では、卒業生でもある作曲家・酒井格氏から2度、指導を受けた。1度めは制作途中の作品について一人ひとりにアドバイス。2度めは全員の「マーチ」を吹奏楽部員が演奏し、完成した曲とその演奏について講評とアドバイスをもらった。・ この発表作品の中から、酒井氏に最優秀作品を選んでもらい、全日本吹奏楽コンクール課題曲公募（第33回朝日作曲賞）に応募している。

成果の検証方法 と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業アンケートにおける「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている」「授業を受けて、知識や技能が身についたと感じている」を平均 94%以上にする。 ② アクティブ音楽コース選択者の割合を 6%以上にする。 ③ 個々の生徒作品を外部講師に評価していただく。 ④ 最優秀作品を全国作曲コンクールに出品する。
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業アンケートにおける「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている」「授業を受けて、知識や技能が身についたと感じている」は、いずれも 100%だった。…………… (◎) ② アクティブ音楽コースの選択者は 2% (昨年は 3%)。コロナの影響もあって 3 年生が少なかった。…………… (△) ③ 本校出身の作曲家・酒井格氏に作曲の途中と完成後 (曲と演奏)、個別に計 2 度指導を受けた。…………… (○) ④ 最優秀作品を全日本吹奏楽コンクール課題曲公募 (第 33 回朝日作曲賞) に応募した。今年度は当初からコンクールへの応募を目標として計画的に進めたため、生徒も作品をしっかり仕上げることができた。…………… (○)
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度はソフトやプロジェクタを活用して作曲に必要な知識の学習や生徒作品の指導を計画的に進めることができ、生徒の興味・関心や技能の向上に大いに役立った。この成果や外部講師の指導を活かし、生徒作品の内容・質を高め、次年度は作曲コンクールでの入賞も狙っていきたい。 ・ この取り組みの内容や魅力を本校内はもちろん、周辺の中学・高校に広めていく必要性を感じている。

3. 事業費報告

今年度事業費総額	27,000	円
----------	--------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
1 報償費	1	講師謝礼（作曲・演奏指導）	¥13,500	2	¥27,000
	2				
	3				
					小計
2 旅費	1				
	2				
	3				
					小計
3 消耗需用費	1				
	2				
	3				
					小計
4 維持需用費	1				
	2				
	3				
					小計
5 役務費	1				
	2				
	3				
					小計
6 委託料	1				
	2				
	3				
					小計
7 使用料 及び賃借料	1				
	2				
	3				
					小計
8 備品購入費	1				
	2				
	3				
					小計
9 工事請負費	1				
	2				
	3				
					小計
10 負担金・補助 及び交付金	1				
	2				
	3				
					小計
				合計	¥27,000